

## 西アジア・中央アジアからの研修員計6カ国8名

## 「施設の運営・維持管理の向上を通じた農業生産基盤の整備(B)」

## 宮城県、福島県、山形県の灌漑施設訪問

「信頼で世界をつなぐ」をビジョンに掲げ、日本の政府開発援助（ODA）実施機関として開発途上国への国際協力を行っている独立行政法人国際協力機構東北センター（所長：花立大民、所在地：宮城県仙台市、以下：JICA 東北）は、西アジア・中央アジアから、農業・農村開発政策を担う中央政府または地方政府の行政官等8名を招聘し、5月20日から6月27日まで東京都、千葉県、茨城県、宮城県、福島県及び山形県で研修を行います。

多くの開発途上国では灌漑施設などのインフラ整備が推し進められてきた一方、適切な施設の維持運営管理体制の整備や老朽化施設の修繕が課題となっており、法制度や運営管理体制改善のための実施者の事業計画立案能力の向上が求められています。本研修では、中央政府または地方政府の農業・農村開発政策を担当する実務者を日本に招き、灌漑施設にかかる適切な維持運営管理及び農民への技術移転を行うための計画立案実施能力の向上を目指します。



【2024年研修の風景】

取材をご希望の方は、下記お問い合わせ先の入力フォームを用い①氏名、②Email アドレス、③電話番号、に加え、④「お問い合わせ内容」に、「社名・部署名」、「取材スタッフの構成」、「取材希望日時・プログラム」を明記し、余裕をもってお申込みください。

## 【本件に関するお問い合わせ先】



JICA 東北 総務課 担当：大和

※直前の取材申し込みの場合、お断りする場合がございます。

ご了承ください。

<https://forms.office.com/r/HsCRWCg7pw>

## ■独立行政法人国際協力機構（JICA）について

JICA は、開発途上国が直面する課題を解決するため、技術協力、有償資金協力、無償資金協力など日本の政府開発援助（ODA）を一元的に担う二国間援助の実施機関で、150以上の国と地域で事業を展開しています。国際社会の課題は日本とも密接に関係しています。国内外のパートナーと協力してそれらの解決に取り組み、世界の平和と繁栄、日本社会の更なる発展に貢献します。

詳しくは <https://www.jica.go.jp/index.html> をご覧ください。

【研修スケジュール】※当日は研修監理員が同行し、通訳(日本語-露語)を行います。

日付	活動内容	宿泊地
5/20(火)	● 来日	東京
5/21(水)	● 午前 プリーフィング (於 JICA東京) ● 午後 プログラムオリエンテーション(於 同上)	東京
5/22(木)	● インセプションレポート発表	東京
5/23(金)	● 午前 講義 日本の農業農村整備事業の概要 ● 午後 移動(東京→仙台)	宮城
5/24(土)	休日	宮城
5/25(日)	休日	宮城
5/26(月)	● 午前 講義 日本の農業/灌漑施設の建設と管理 (於 JICA東北) ● 午後 講義 宮城県の農業農村整備事業の概要 (於 JICA東北)	宮城
5/27(火)	● 午前 視察 大崎地域における灌漑施設と水管理 ● 午後 視察 大崎土地改良区管内施設視察	宮城
5/28(水)	● 午前 視察 大区画圃場整備事業実施地区視察 ● 午後 視察 東日本大震災からの復興農地視察	宮城
5/29(木)	● 午前 視察 沢尻排水機場(国営防災事業地区)・尾袋川東地区 ● 午後 視察 内町ため池・大張沢尻棚田視察	宮城
5/30(金)	● 午前 講義 プロジェクトの社会経済評価 (於 JICA東北) ● 午後 実習 プロジェクトの社会経済評価演習 (於 JICA東北)	宮城
5/31(土)	休日	宮城
6/1(日)	休日	宮城
6/2(月)	● 午前 移動(仙台→郡山) 視察 福島県農業総合センター ● 午後 視察 JAカントリーエレベーター・JAさくら直売所(あぐりあ)	福島
6/3(火)	● 午前 視察 安積疎水各施設 ● 午後 視察 十六橋水門・沼上発電所、移動(郡山→仙台)	宮城
6/4(水)	● 午前 講義 水文学(於 JICA東北) ● 午後 実習 水文学演習(於 JICA東北)	宮城
6/5(木)	● 午前 講義 土地改良区・連合会の役割 ● 午後 視察 名取市管内施設、名取土地改良区水管理施設	宮城
6/6(金)	● 午前 講義 地球温暖化と地域の環境問題、 視察 干拓による景観の変化(大仰寺より展望) ● 午後 視察 手樽干拓地の農業視察、津波からの復興と景観配慮	宮城

## 取材のご案内



独立行政法人国際協力機構  
東北センター  
2025年5月13日

6/7(土)	休日	宮城
6/8(日)	休日	宮城
6/9(月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 午前 実習 課題分析(アクションプラン作成) (於 JICA東北)</li> <li>● 午後 移動(仙台→酒田)</li> </ul>	山形
6/10(火)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 午前 講義 最上川下流右岸地区説明</li> <li>● 午後 視察 最上川下流右岸地区</li> </ul>	山形
6/11(水)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 午前 視察 最上川下流左岸地区</li> <li>● 午後 視察 最上川下流左岸地区、移動(酒田→東京)</li> </ul>	東京
6/12(木)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 午前 講義 日本の統合的水管理</li> <li>● 午後 実習 課題分析(アクションプラン作成)</li> </ul>	東京
6/13(金)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 午前 実習 課題分析(アクションプラン作成)</li> <li>● 午後 視察 利根大堰</li> </ul>	東京
6/14(土)	休日	東京
6/15(日)	休日	東京
6/16(月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 午前 講義 基幹灌漑施設の運営管理</li> <li>● 午後 講義 ストックマネージメントの実務、移動(東京→筑波)</li> </ul>	茨城
6/17(火)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 午前 講義 ストックマネージメントの新技術</li> <li>● 午後 講義 乾燥地農業、移動(筑波→東京)</li> </ul>	東京
6/18(水)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 午前・午後 講義 参加型水管理海外協力事例</li> </ul>	東京
6/19(木)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 視察 ポンプのメンテナンス</li> </ul>	東京
6/20(金)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 午前・午後 講義/実習 スマホを利用したストックマネージメント</li> </ul>	東京
6/21(土)	休日	東京
6/22(日)	休日	東京
6/23(月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 実習 アクションプラン作成指導</li> </ul>	東京
6/24(火)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 午前・午後 講義・実習 気候変動に対応するJICAの取組</li> </ul>	東京
6/25(水)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● アクションプラン(研修内容を踏まえた研修員による事業計画)発表会</li> </ul>	東京
6/26(木)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 午前 講義 土地改良区の水管理/総合的水資源管理</li> <li>● 午後 評価会、閉講式</li> </ul>	東京
6/27(金)	帰国	

### <研修概要>

研修コース名: 課題別研修「施設の運営・維持管理の向上を通じた農業生産基盤の整備(B)

研修期間: 2025年5月20日～2025年6月27日(27日間)

研修参加国: アルメニア、アゼルバイジャン、カザフスタン、キルギス、タジキスタン、ウズベキスタン 合計 8名